

# 作業計画と実績

2014年5月8日現在

月日	曜日	予定 (4/28週間予定表より)		実績		
4月28日	月	・Ice Crystal2実験準備作業	Cell Mechano- sensing 実験	[継続実施中] ○船内利用 ・「きぼう」船内の 宇宙放射線計測 (Area PADLES) ・Stem Cells実験 ・Space Pup実験 ・JAXA PCG 実験	・Ice Crystal2実験準備作業	[継続実施中] ○船内利用
4月29日	火	Hybrid Training		・「きぼう」船内の 宇宙放射線計測 (Area PADLES) ・Stem Cells実験	Hybrid Training	・「きぼう」船内の 宇宙放射線計測 (Area PADLES) ・Stem Cells実験
4月30日	水	・Ice Crystal2実験準備作業 Hybrid Training 実験		・Space Pup実験 ・JAXA PCG 実験	・Ice Crystal2実験準備作業 Hybrid Training 実験	・Space Pup実験 ・JAXA PCG 実験
5月1日	木	Ice Crystal2 実験		○船外利用 ・宇宙環境計測ミッ ション(SEDA-AP)	Ice Crystal2 実験	○船外利用 ・宇宙環境計測ミッ ション(SEDA-AP)
5月2日	金	Ice Crystal2 実験		・全天のX線天体の 監視(MAXI) ・4K極低温機械式 冷凍機の技術デー タ取得(SMILES)	Ice Crystal2 実験	・全天のX線天体の 監視(MAXI) ・4K極低温機械式冷 凍機の技術データ取 得(SMILES)
5月3日	土			・ポート共有実験装 置(MCE)の実験機 器の運用		・ポート共有実験装 置(MCE)の実験機 器の運用
5月4日	日					

日付は日本時間

- 略語 Hybrid Training: 国際宇宙ステーションに長期滞在する宇宙飛行士の筋骨格系廃用性萎縮へのハイブリッド訓練法の効果  
(代表研究者:久留米大学医学部 教授 志波直人)
- Ice Crystal2: 生体高分子の関与する氷結晶成長-自励振動成長機構の解明  
(代表研究者:北海道大学 低温科学研究所 所長 古川義純)
- Cell Mechanosensing: 無重カストレスの化学的シグナルへの変換機構の解明  
(代表研究者:名古屋大学大学院医学系研究科 特任教授 曾我部正博)
- Dynamic Surf: 高プラントル数流体のマランゴニ振動流遷移における液柱界面の動的変形効果の実験的評価  
(代表研究者:鴨谷康博 ケースウェスタンリザーブ大学 機械・航空宇宙工学部門 教授)
- JAXA PCG: タンパク質結晶生成宇宙実験
- Area PADLES: 受動積算型宇宙放射線線量計
- Stem Cells: ES細胞を用いた宇宙環境が生殖細胞に及ぼす影響の研究  
(代表研究者:森田隆 大阪市立大学教授)
- Space Pup: ほ乳類の繁殖における宇宙環境の影響  
(代表研究者:若山照彦 山梨大学教授)
- SEDA-AP: 宇宙環境計測ミッション装置
- MAXI: JEM搭載全天X線監視装置
- SMILES: 超伝導サブミリ波リム放射サウンダ
- MCE: ポート共有実験装置